

2017年度

“人権”を総合的に学べる国内有数の講座  
2016年12月施行の部落差別解消推進法も学びます。

# 部落解放・人権 大学講座

出会い

発見

感動

学習者こそが主人公

被差別当事者との出会い

充実の講師陣・サポート体制



42年の歴史の上に、396団体、5,196人の受講実績。

第112期

2017年

9月1日 金

2018年

3月16日 金

受講料

248,400円

(消費税含む)

※2017年度は1期開講です。  
※実施日数は24日間、定員は約80人です。

●主催：一般社団法人 部落解放・人権研究所

●協力：部落解放・人権大学講座運営委員会

## 「部落解放・人権大学講座」とは

部落問題を軸として、様々な人権問題や差別問題、人権啓発のスキルなどを学ぶ講座です。講義形式だけでなく、少人数で語り合うプログラム(自己啓発学習)やワークショップ(参加型学習)、フィールドワークなど、多彩な学習方法を取り入れ、受講生の主体的な学びを促しています。企業、行政、教育、宗教、市民団体など、多様な業種と年代の受講生による相互学習や交流も貴重です。

開講から42年の歴史の上に、約396団体、5,196人の受講実績を誇ります。

2016年12月施行の部落差別解消推進法についても学びます。



### 人権の知識・態度・スキルを育み、課題に対応する行動力を培います。

#### 知識

個別の差別・人権問題についての具体的現状や課題、法制度などの学びにとどまらず、他の問題状況にも転用・適用可能な「普遍的なもの」の見方・概念としての「知」を育てます。

#### 態度

多彩な受講生一人ひとりの価値観やアイデンティティを尊重した学びの場で、個人が力を発揮できる公正な環境づくりを推進する姿勢を育てます。

#### スキル

人権・差別についての話し合いを通じてのコミュニケーション力や、レポート作成を通しての発信力、また、プログラムの多様な学習手法が、研修担当者としての企画力を養います。



## 修了生の声

### 長いようで短かった 充実した半年間

開講初日には「半年間は長いなあ」と思っていたのですが、様々な人権テーマの講座やフィールドワークなどを体験するにつれ、週1回の解大が当たり前のように思えてきました。自己啓発学習では、自身の過去をふりかえり、自分の人権意識と真摯に向き合う貴重な体験をさせてもらうとともに、他業種、異世代の班員との議論では常に新たな“気づき”がありました。終わってみれば、あっという間の充実した半年間でした。班員との交流は今も続いています。



第108期  
川口 さん  
阪南市

### 人との関わり合いの 大切さを学ぶ

人権問題を学ぶ多くのカリキュラムにより、人権担当者としての自信と知識を得ることができました。また、年齢や職種の異なる人の集まりの中で学習することで、ダイバーシティ社会を実感しました。自己啓発学習では、「自分と向き合う」時間をもち、班の人達と語り合う事によって、人との関わり合いの大切さを学びました。あっという間に修了を迎えたという気がします。講座修了後も交流は続き、あの頃と同様に熱く語り合い、情報交換をしています。



第109期  
飯田 さん  
イオンリテール(株)

### 人権問題と自分との 関わりを認識

解放大学での学びを通じて、人権問題は「私と関係のないもの」ではなく、日々の生活の中で「私と関係するもの」だと認識を新たにしました。また、人権問題は様々な場面に内包されており、意識することにより明確に現れるものだと気づくことができました。忌憚のない意見を交わせる仲間を得たことも、人生においてかけがえない大きな糧となりました。「受講して本当に良かった」と心の底から思えるような、貴重な機会を与えていただいたことに感謝しています。



第110期  
梶谷 さん  
千早赤阪村

### 無意識・無自覚からの 脱却へ

受講前は直接人権問題に触れた機会はほとんど無いと思っていましたが、フィールドワークや講師の方々のお話を通じて、想像以上に身の回りには様々な人権問題に悩み、困っている方がいることを強く認識しました。また、多様な同期生や知識・経験豊富な助言者に恵まれ、多くの理解を得ることができ、有意義に過ごすことができました。解大で得た知識や考え方に加え、培った人権問題への感性を高く持ち続け、職場に還元し続けたいと思います。



第111期  
深谷 さん  
住友電気工業(株)

## 私たちも推薦します



尾崎 裕

大阪商工会議所  
会頭



組坂 繁之

部落解放同盟中央本部  
執行委員長



栗原 成壽

公益社団法人  
全国人権教育研究協議会  
代表理事



白石 理

一般財団法人  
アジア・太平洋人権情報  
センター会長



竹山 修身

堺市長

(敬称略・50音順 2017年3月現在)

## 講師

青木 慶子	キャリアサポート Office Aoki 代表	谷川 雅彦	部落解放・人権研究所 所長
朝治 武	(公財) 大阪人権博物館 館長	谷口真由美	大阪国際大学 准教授、部落解放・人権研究所 理事
井上 龍生	大阪同和・人権問題企業連絡会 理事長	土田 光子	元教員
大川 一夫	弁護士	出口真紀子	上智大学 准教授
大谷 恭子	弁護士	寺木 伸明	桃山学院大学 名誉教授
奥田 知志	NPO 法人 抱樸 理事長	大山 健吾	大阪同和・人権問題企業連絡会 啓発研究会Gチーム世話役
奥田 均	近畿大学人権問題研究所 教授、 部落解放・人権研究所 代表理事	原田 恵子	ハンセン病回復者支援センター
梶山 武志	大阪府専修学校各種学校連合会 指導員	朴 貞任	旧京都朝鮮第一初級学校 オモニ会 会長
川口 泰司	部落解放同盟山口県連合会 書記長	橋本 竜二	NPO 法人 虹色ダイバーシティ
北口 未広	近畿大学人権問題研究所 主任教授、 部落解放・人権研究所 理事	廣岡 浄進	大阪観光大学 准教授
金 尚均	龍谷大学法科大学院教授	宮良 正吉	ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会
桑野 里美	セクハラ・パワハラ防止コンサルタント、 ビジネス・パートナー・オフィス KUWANO 代表	村井 茂	(一財) 大阪府人権協会 代表理事
駒井 忠之	水平社博物館 館長	村井 康利	部落解放同盟大阪府連合会 書記長
桜井智恵子	川西市子どもの人権オンブズパーソン専門員、 大阪大谷大学 教授	文 公輝	多民族共生人権教育センター 理事
		渡辺 俊雄	全国部落史研究会 運営委員

(敬称略・50音順 2017年3月現在)

### 協力

公益財団法人 大阪人権博物館  
NPO法人 ヒューマン・ライツ・アドバンス・堺  
NPO法人 釜ヶ崎支援機構  
関西沖縄文庫  
多民族共生人権教育センター

### 充実の講師陣

人権確立のために各分野の第一線で活躍されている方々を講師に迎え、最新の人権状況について学びます。知識や理論だけでなく、被差別当事者の体験談など、具体的な現実から学ぶことによって、人権問題に対応する力を養います。

## 日程

# 第112期

2017年 9月1日(金) ▶ 2018年 3月16日(金)

- 実日数は、24日間です。
- 時間帯は、原則として午前9:30～午後5:30です。
- 定員 約80人

## 受講料

248,400円(消費税含む)

※宿泊研修費、教材費を含みます。

受講決定後、開講日までにお振り込みください。

※厚生労働省の制度で、キャリア形成促進助成金があります。制度の詳細については、各都道府県の労働局にお問い合わせ下さい。

## 受講料振込先

りそな銀行 桜川支店  
普通預金 口座番号0487613  
口座名義 一般社団法人部落解放・人権研究所  
代表理事 奥田 均(オクダヒトシ)  
(昨年度と同じ)

## 受講の 手続き

- ①各期、申込締切日までに、「受講申込書」に必要事項をご記入の上、「作文」(右ページ参照)を添えて、下記の申込先までお送りください。
- ②受講申込書受付後、書類審査の上、受講決定通知・請求書等をお送りします。
- ③申込受付は、**先着順**とし、随時受け付けています。
- ④受講される方が職場で確定していない段階でも、定員内で予約を受け付けています。

## 申込先・ 予約受付

(一社)部落解放・人権研究所 啓発企画部 部落解放・人権大学講座 事務局  
〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8階 TEL 06-6581-8596 FAX 06-6581-8540  
**E-mail : kaidai@blhrri.org**

## 主会場

### AIAI おおさか (HRCビル)

〒552-0001  
大阪市港区波除4-1-37  
HRCビル

- JR大阪環状線「弁天町」駅北口  
または
- 地下鉄中央線「弁天町」駅④番出口  
から約10分

※有料駐車場はありますが、なるべく公共の交通機関をお使い下さい。



## 交通案内



# 2017年度 第112期 部落解放・人権大学講座 プログラム

- やむを得ない事情により日程やテーマを変更することがあります。
- 講座テーマ・タイトルは、プログラム設定時の仮題です。

回	日程	9:30~17:30		
1	9/1(金)	10:00~ 開講式 オリエンテーション	13:00 開講ワークショップ(グループ1)	事務連絡
			13:00 開講ワークショップ(グループ2)	事務連絡
2	9/7(木)	9:30~11:40 部落問題入門	12:40~14:50 同和・人権行政の歩みと課題 ~部落差別解消推進法制定を踏まえて~	15:10~17:20 「マジョリティの特権」について考える
				事務連絡
3	9/14(木)	企業と人権~部落問題を踏まえて	差別をなくす社会システムのあり方	部落の歴史I~前近代
4	9/20(水)	10:00~ 部落の歴史 II~近現代	部落問題学習フィールドワークI (グループ1) (堺市)	
	9/21(木)	10:00~ 部落の歴史 II~近現代	部落問題学習フィールドワークI (グループ2) (堺市)	
5	10/5(木)	9:30~11:00 部落解放運動がめざすもの	11:15~12:45 ネット上の部落差別	13:45~16:15 これからの同和・人権教育
				16:30~17:30 自己啓発学習の説明 事務連絡
6	10/11(水)	自己啓発学習 セッションI (グループ1)		宿泊研修
7	10/17(火)	自己啓発学習 セッションI (グループ2)		
7	10/12(木)	自己啓発学習 セッションI (グループ1)		
	10/18(水)	自己啓発学習 セッションI (グループ2)		
8	10/24(火)	自己啓発学習 セッションII (グループ1)		
	10/26(木)	自己啓発学習 セッションII (グループ2)		
9	10/31(火)	自己啓発学習 セッションII (グループ1)		
	11/1(水)	自己啓発学習 セッションII (グループ2)		
10	11/9(木)	自己啓発学習 セッションIII (グループ1)		
	11/10(金)	自己啓発学習 セッションIII (グループ2)		
11	11/15(水)	自己啓発学習 セッションIII (グループ1)		
	11/16(木)	自己啓発学習 セッションIII (グループ2)		
12	11/21(火)	自己啓発学習 最終日 (グループ1)		
	11/22(水)	自己啓発学習 最終日 (グループ2)		
13	11/29(水)	10:00~ 部落の歴史 III~水平社創立の思想	大阪人権博物館の見学と浪速地域フィールドワーク (グループ1)	
	11/30(木)	10:00~ 部落の歴史 III~水平社創立の思想	大阪人権博物館の見学と浪速地域フィールドワーク (グループ2)	
14	12/7(木)	9:30~12:30 部落問題の学びを踏まえて/ 部落差別解消推進法の意義と課題【聴講可能】	13:30~16:30 障害者の人権【聴講可能】	16:40~17:30 事務連絡 グループふりかえり
15	12/13(水)	生活困窮者支援の今【聴講可能】	野宿労働者の人権(西成)/沖縄出身者の歴史と人権(大正)/ 在日韓国・朝鮮人の歴史と人権(生野) フィールドワーク	
16	12/21(木)	子どもの権利【聴講可能】	セクシュアル・マイノリティの人権【聴講可能】	事務連絡 グループふりかえり
17	1/9(火)	在日韓国・朝鮮人の人権【聴講可能】	ヘイトスピーチ問題を考える【聴講可能】	事務連絡 グループふりかえり
18	1/16(火)	ハンセン病問題と人権【聴講可能】	差別禁止法の制定を求めて【聴講可能】	事務連絡 グループふりかえり
19	1/23(火)	ジェンダーと人権【聴講可能】	9:30~12:00 人権相談のあり方~あらゆるハラスメントを視野に~(グループ1)	16:40~17:30 事務連絡 グループふりかえり
			13:00~16:30 職場における人権研修(グループ2)	
20	1/30(火)	報道と人権【聴講可能】	13:00~16:30 職場における人権研修(グループ1)	事務連絡 グループふりかえり
			13:00~16:30 人権相談のあり方~あらゆるハラスメントを視野に~(グループ2)	
21	2/6(火)	司法と人権【聴講可能】	自由課題研究レポート中間発表(班単位)	
22	2/14(水)	部落問題学習フィールドワークII		
	2/16(金)	部落問題学習フィールドワークII		
23	3/1(木)	自由課題研究レポート最終発表(班単位)		
24	3/16(金)	学びを今後につなぐために(ワークショップ)(グループ1)	記念講演	修了の集い
		学びを今後につなぐために(ワークショップ)(グループ2)		

※【聴講可能】・・・どなたでも聴講可能な講座(受講料3,500円+税)。お問い合わせ・お申し込みは事務局まで。

※第22回目のフィールドワークは、異なる日とコースで行い、希望により選択して参加いただけます。(人数によっては調整する場合があります)

自己啓発学習      自由課題研究レポート      フィールドワーク

本講座では、学習者の「主体的な学び」を促すため、以下の2つのプログラムを設けています。

## 自己啓発学習

「自己啓発学習」は、受講生一人ひとりの中にある部落問題への認識や、差別・被差別体験等を見つめ直し、部落問題や人権問題を自らの問題として捉え直すことを目的としています。経験豊かな助言者と共に、少人数のグループでの話し合いを中心に行います。

## 自由課題研究レポート

受講期間の後半の課題として、部落問題・人権問題に関するテーマを自由に設定し、レポートを執筆いただきます。専門的な知識をより深め、人権に関わるリーダーとして、自らの考えを他者に的確に伝える発信力を身につけます。

## 主催・お問い合わせ

### (一社)部落解放・人権研究所

部落解放・人権大学講座事務局

TEL06(6581)8596 FAX 06(6581)8540

〒552-0001

大阪市港区波除 4-1-37 HRCビル 8階

E-mail [kaidai@blhri.org](mailto:kaidai@blhri.org) URL <http://blhri.org>

## 協力

### 部落解放・人権大学講座 運営委員会

部落解放・人権大学講座運営委員会は、大阪府、大阪市、堺市をはじめとした大阪府内の自治体や、人権教育関係組織、大阪同和・人権問題企業連絡会、大阪企業人権協議会、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議など、各界で人権問題に取り組む団体で構成され、本講座の企画・運営にご協力いただいております。

## ● これまで受講生が参加された組織

■大阪府 ■大阪市 ■堺市 ■豊中市 ■池田市 ■箕面市 ■吹田市 ■高槻市 ■茨木市 ■摂津市 ■守口市 ■枚方市 ■寝屋川市 ■大東市 ■門真市 ■四條畷市 ■交野市 ■東大阪市 ■八尾市 ■松原市 ■柏原市 ■富田林市 ■河内長野市 ■羽曳野市 ■藤井寺市 ■大阪狭山市 ■泉大津市 ■和泉市 ■高石市 ■岸和田市 ■貝塚市 ■泉佐野市 ■泉南市 ■阪南市 ■能勢町 ■豊能町 ■島本町 ■太子町 ■河南町 ■千早赤阪村 ■忠岡町 ■熊取町 ■田尻町 ■岬町 ■福知山市 ■尼崎市 ■宝塚市 ■加古川市 ■市川町 ■奈良市 ■宇陀市 ■曾爾村 ■御代田町 ■三重県 ■四日市市 ■鈴鹿市 ■松阪市 ■鳥羽市 ■名張市 ■伊賀市 ■桑名市 ■津市 ■野洲市 ■東近江市 ■草津市 ■和歌山市 ■米子市 ■大阪の部落史編纂委員会 ■反差別国際運動日本委員会 ■部落解放同盟愛媛県連合会 ■部落解放同盟大阪府連合会 ■部落解放同盟中央本部 ■部落解放同盟奈良県連合会 ■部落解放同盟兵庫県連合会 ■カトリック正義と平和協議会 ■カトリック中央協議会 ■カトリック東京大司教区部落問題委員会 ■カトリック大阪教会管区部落差別人権活動センター ■浄土真宗本願寺派 ■真宗大谷派 ■西山浄土宗 ■世界救世教 ■曹洞宗 ■天理教 ■日本基督教団 ■日本聖公会 ■和宗総本山四天王寺 ■泉佐野市人権を守る会 ■大阪市人権教育研究協議会 ■大阪市人権啓発推進協議会 ■大阪府立高等学校人権教育研究会 ■大阪府立住吉人権文化センター ■大阪府私立学校人権教育研究会 ■大阪府人権教育研究協議会 ■大阪府人権福祉施設連絡協議会 ■大阪府信用農業協同組合連合会 ■大阪府専修学校各種学校連合会人権教育推進協議会 ■大阪府地域支援人権金融公社 ■大阪府福祉人権推進センター ■大阪府立学校人権教育研究会 ■岸和田市人権啓発推進協議会 ■堺市人権教育推進協議会 ■堺市農業協同組合 ■堺市立人権ふれあいセンター ■JAグループ大阪人権推進連絡会 ■人権啓発推進大阪協議会 ■全国共済農業共同組合連合会 ■中小企業連合会 ■日本労働組合総連合会大阪府連合会 ■全国農業協同組合連合会 ■東大阪市人権啓発協議会 ■枚方郵便局部落解放研究会 ■部落解放大阪府企業連合会 ■NPO法人暴力防止情報スペース・APIS ■(一財)大阪府人権協会 ■(公財)甲賀・湖南人権センター ■(財)高速道路交流推進財団 ■(公財)新日本宗教団体連合会 ■(公財)聖バルナバ病院 ■(社)大阪市人権協会 ■(一財)とよなか人権文化まちづくり協会 ■(公社)日本水道協会 ■(公財)反差別・人権研究所みえ ■(一社)ひょうご部落解放・人権研究所 ■(一社)部落解放・人権研究所 ■(社福)大阪市社会福祉協議会 ■(社福)大阪府社会福祉協議会 ■(社福)若江学院 ■(一社)和歌山人権研究所 ■(学)エール学園 ■(学)大阪国学院 ■(学)大阪産業大学 ■(学)大阪歯科大学 ■(学)城南学園 ■(学)追手門学院大手前高等学校 ■(学)関西情報工学院専門学校 ■(学)関西大学 ■(学)享栄学園 ■(学)近畿大学 ■(学)四天王寺学園 ■(学)塚本学院 ■(医)寺西報恩会長吉総合病院 ■(医)南大阪病院 ■(医)渡辺第二病院 ■独立行政法人雇用・能力開発機構 ■(株)IHI ■アイシン精機(株) ■アイワ(株) ■(株)あおぞら銀行 ■朝日生命保険(相) ■安治川鉄工(株) ■味の素(株) ■アステラス製薬(株) ■(株)アライドテック ■アルフレッサ(株) ■イオン(株) ■イオンディライト(株) ■イオンリテール(株) ■石塚硝子(株) ■イズミヤ(株) ■イトキン(株) ■稲畑産業(株) ■(株)IMAGICA ■宇部興産(株) ■エクソンモービル(有) ■SEIビジネスクリエイツ(株) ■(株)SEIプロスタッフ ■NECソリューションイノベータ(株) ■NECセミコンダクターズ関西(株) ■NECライティング(株) ■NTN(株) ■(株)NTTドコモ中国 ■(株)NTTドコモ東海 ■(株)NTT西日本ー関西 ■N T T西日本ーみやこ ■(株)エヌ・ティ・ティネオメイト関西 ■(株)NTTビジネスアソシエ関西 ■近江鉄道(株) ■大磯産業(株) ■オーウエル(株) ■大内新興化学工業(株) ■(株)大倉 ■大倉運輸産業(株) ■大阪ガス(株) ■大阪協栄信用組合 ■大阪石油化学(株) ■(株)大津コーポレーション ■大林新星和不動産(株) ■オムロン(株) ■オリエンタル酵母工業(株) ■カネボウ化粧品 ■カネボウ化粧品販売(株) ■カネヨウ(株) ■(株)関西アーバン銀行 ■関西国際空港(株) ■関西ペイント(株) ■関西電力(株) ■菊正宗酒造(株) ■KISCO(株) ■キッコーマン食品(株) ■共栄火災海上保険(相) ■麒麟ビール(株) ■(株)近畿大阪銀行 ■近畿工業(株) ■近畿日本鉄道(株) ■(株)近鉄百貨店 ■(株)きんでん ■(株)クボタ ■クラシエホールディングス(株) ■クラボウ(株) ■(株)クラヤ三星堂 ■栗田工業(株) ■栗本商事(株) ■(株)栗本鐵工所 ■グンゼ(株) ■(株)群馬銀行 ■(株)ケイ・オブティコム ■京阪電気鉄道(株) ■興和(株) ■コカ・コーラウエスト(株) ■国際警備保障(株) ■コスモ警備保障(株) ■コスモ建物管理(株) ■小林製薬(株) ■(株)ザイマックスビルマネジメント ■佐藤工業(株) ■(株)澤田商工 ■山九(株) ■産業振興(株) ■サンスター(株) ■参天製薬(株) ■サントリーホールディングス(株) ■三洋電機(株) ■(株)ジェイアール西日本交通サービス ■(株)ジェイアール西日本ホテル開発 ■JFEスチール(株) ■JFE継手(株) ■(株)ジェイテクト ■塩野義製薬(株) ■(株)滋賀銀行 ■資生堂ジャパン(株) ■資生堂販売(株) ■清水建設(株) ■(株)シミズ・ビルライフケア関西 ■ZIPANG(株) ■シャープ(株) ■シャープマニュファクチャリングシステム(株) ■蛇の目ミシン工業(株) ■(株)ジョイックス ■(株)商工組合中央金庫 ■(株)商船三井 ■昭和シェル石油(株) ■信越化学工業(株) ■関西エアポート(株) ■新協和産業(株) ■新内外線(株) ■新日本石油(株) ■大阪国際石油精製(株) ■住電電業(株) ■住金機工(株) ■住友金属工業(株) ■住友金属物流(株) ■住友商事(株) ■住友信託銀行(株) ■住友精密工業(株) ■住友生命保険(相) ■住友電気工業(株) ■住友電工ハードメタル(株) ■住友電設(株) ■(株)清文社 ■積水ハウス(株) ■摂津水都信用金庫 ■(株)銭高組 ■全日本空輸(株) ■双日(株) ■象印マホービン(株) ■(株)ダイエー ■ダイキン工業(株) ■(株)第三銀行 ■大成建設(株) ■大同工業(株) ■大同生命保険(株) ■大都美装(株) ■ダイハツ工業(株) ■太平洋セメント(株) ■(株)大和証券グループ本社 ■大和ハウス工業(株) ■(株)竹中工務店 ■田辺総合サービス(株) ■田辺三菱製薬(株) ■(株)チトセ ■(株)ツバキエマソン ■テルウェル西日本(株) ■テレビ大阪(株) ■(株)デンソー ■(株)電通 ■東海カーボン(株) ■東海染工(株) ■東海旅客鉄道(株) ■東急リハビリ(株) ■東京海上日動火災保険(株) ■東洋紡インテリア(株) ■東レ(株) ■ドコモサービス関西(株) ■トヨタ自動車(株) ■(株)豊田自動織機 ■トヨタ車体(株) ■西日本高速道路(株) ■(株)西日本シティ銀行 ■西日本電信電話(株) ■西日本旅客鉄道(株) ■(株)日建設計 ■日産大阪販売(株) ■日新製糖(株) ■(株)日清製粉グループ本社 ■あいおいニッセイ同和損害保険(株) ■ニッセイ・ビジネス・サービス(株) ■日鐵住金溶接工業(株) ■日東カスティアル・サービス(株) ■日東電工(株) ■日東紡績(株) ■(株)日住サービス ■(株)日本アクセス ■日本インシュアランスサービス(株) ■損害保険ジャパン日本興亜(株) ■日本GE(株) ■(株)日本システムディベロップメント ■日本生命保険(相) ■日本タクシー(株) ■日本たばこ産業(株) ■日の出証券(株) ■日本電気硝子(株) ■日本山村硝子(株) ■日本輸送機(株) ■(株)日本旅行 ■(株)ニュージエック ■(株)ネクステージ関西 ■(株)ノビア ■(株)ノザワ ■(株)ノリタケカンパニーリミテド ■(株)間組 ■パナソニック(株) ■パナソニック電工(株) ■パナソニックエレクトロニクスデバイス(株) ■パナソニック コンシューマー マーケティング(株) ■阪急電鉄(株) ■阪神高速道路(株) ■阪神電気鉄道(株) ■(株)ピケンテクノ ■(株)日立製作所 ■(株)広島銀行 ■(株)びわこ銀行 ■(株)福井銀行 ■(株)福井製作所 ■富士火災海上保険(株) ■富士生命保険(株) ■(株)フジソク ■(株)不動テトラ ■(株)平和堂 ■ペガサスマシン製造(株) ■ぼぶり新聞社 ■(株)マイカル ■マスミューチュアル生命保険株式会社 ■(株)松井製作所 ■松尾電機(株) ■マツダ(株) ■マルハニチロ水産(株) ■(株)マンダム ■三菱自動車工業(株) ■みずほ証券(株) ■みずほ信託銀行(株) ■三井住友海上火災保険(株) ■(株)三井住友銀行 ■三井造船(株) ■三菱地所(株) ■三菱製紙販売(株) ■三菱電機(株) ■三菱マテリアル(株) ■三菱UFJ信託銀行(株) ■光村図書出版 ■宮崎機械システム(株) ■明治安田生命保険(相) ■持田製薬(株) ■森下仁丹(株) ■(株)モリタホールディングス ■(株)山善 ■山文商事(株) ■ヤンマー(株) ■ユニチカ(株) ■読売新聞社 ■ラサ商事(株) ■理研計器(株) ■(株)リそな銀行 ■ルネサス関西セミコンダクタ(株) ■(株)レナウン

(順不同/2017年3月現在)

# 申込方法

「受講申込書」に必要事項をご記入の上、**作文**(詳細下記)を添付して、申込締切日までに講座事務局へお送りください。※申込書はお手数ですがキリトリ線に沿って切ってお送り下さい。

受講申込締切日

第**112**期 2017年**8月4日** 金

## 添付する作文 について

本講座受講への意識づけのために、事前にご執筆いただくものです。以下の3点について1,200字程度にまとめて、「受講申込書」と併せて、お送りください(書式自由)。

- 受講の動機や抱負
- 現在の業務と人権の関わり
- 部落問題や差別に関しての経験や見聞きしたこと など

## 職場からの参加にあたって

### 1 人選について

本講座は、部落問題をはじめとする人権問題の解決に取り組むリーダー養成を目的としています。

したがって、できるだけ以下のいずれかの条件を満たす方にご参加いただくことをお勧めします。

① 部落問題や人権問題に関して  
学習意欲のある方

② 部落問題や人権問題に関わる  
具体的な業務や役割をもった方

### 2 修了の要件について

以下の三点を修了要件としますので、受講される方に、事前にお伝えください。業務の都合等で要件を満たせない場合は、事務局にご相談ください。

① 講座への8割以上の出席

(全日程の出席が原則です。やむを得ず欠席された場合は、講義録音による補講ができます。ただし、自己啓発学習は補講が行えませんので必ずご出席ください。)

② 自己啓発学習の修了

(原則全7日間の出席と、レポートの提出が必要です。)

③ 自由課題研究レポートの提出

(講座期間中の指定する期日までに提出してください。)

参加の目的 ※所属長が記入してください。

所属長名 \_\_\_\_\_

欠席について ※どうしても出席できない日時がある場合、事前にお知らせください。

日時 年 月 日 ( ) : ~ :

理由



# 部落解放・人権大学講座 受講申込書

名 前		年 代
ふりがな		代 前半 後半
※年代は、班分けの際の参考にさせていただきます。		
連 絡 先		
1. 所 属 ※部・課・係名までお書きください。		
〒 ー		
TEL	FAX	
E-mail		
2. 緊急連絡先 (任 意) 携帯電話番号など		

受講関係書類送付先	
〒 ー	※ 受講決定通知、請求書などの送付先が上記「連絡先」と異なる場合(ご担当窓口・部局など)は記入してください。
	ご担当者名
TEL	FAX
希望するグループ	※プログラムの日程をご確認の上、以下のいずれかに○をつけて下さい。 (フィールドワークや自己啓発学習は、期全体を2つのグループに分けて行います) グループ1 ・ グループ2 ・ どちらでもよい ※調整できず、ご希望に添えない場合はどうぞご容赦下さい。

## 事務局使用欄

受付番号	受付日	受付者
	/	

- ※ ご記入いただきました個人情報、本講座の運営・修了後の連絡等の目的以外には使用いたしません。
- ※ 受講にあたって何か支援や配慮が必要な方は事務局に遠慮なくご相談下さい。
- ※ その他、ご不明な点がありましたら事務局までお問い合わせ下さい。

講座事務局 TEL:06(6581)8596 FAX:06(6581)8540 E-mail:kaidai@blhri.org

職場からの参加の場合は、裏面もご記入ください。